



Summer Concert

コンサート with 千鶴子 vol.18

令和に入って初のコンサート。今年で9年目、18回目を迎えました。

当日はあいにくの梅雨空でしたが、

ピアニストの あべ ありか 様 木村 有里 様

ソプラノ歌手の 水嶋 育 様 柚木 たまみ 様

において戴き、ご来場の皆様には音楽で一足早い、爽やかな夏の雰囲気を楽しんでいただきました。



開演時、傾けるとさざ波が打ち寄せるような音が鳴る「オーシャンドラム」を紹介していただきました。「ザザザザザー」と、本当の波が寄せては返す様子が頭に浮かんできます。終演後、園児たちはそのオーシャンドラムを傾けて、響くさざ波の音を楽しんでいました。

「卯の花の匂う垣根に・・・」で始まる“夏は来ぬ”を皮切りに今回のコンサートは始まりました。歌詞の歌いだしを見てメロディーを思い出すだけでも「夏」を感じませんか？

クラシックでも聴き馴染みのあるアイネ・クライネ・ナハトムジーク（小夜曲）を、絶妙なコンビネーションによるピアノの連弾で披露していただきました。





語りかけるような詩でとてもわかりやすく、情景がすぐに思い浮かぶような歌をたくさん披露していただきました。その中でも、「もしも歌がなかったら」は「あって当たり前」と思っているものの有難さが伝わる歌でした。

入院患者さんやきのこの園児も知っている歌を楽しそうにくちずさんでいました。素敵な演奏と歌声、本当にありがとうございました。次回も楽しみにしています。

